

研究主題 **学校、保護者間の新たなる情報網を**

**活用したコミュニケーションのあり方**

■丸内中学校PTA スローガン

「親育ちから、子どもの生きる力を育む。」

■ 研究課題の趣旨

平成15年に施行された個人情報保護法により、従来から活用されてきた学校、保護者間の情報伝達網の活用が極めて困難となった。さらに個々のコミュニケーションが希薄になりつつある現代社会において共有すべき情報の質や量スピードが急速に低下しつつある。

この最も重要なコミュニケーションの基盤を成すべき情報の共有化を新しい観点で再構築し、本来あるべき学校と保護者間のコミュニケーションの概念とインフラ構築を具体的な実証試験を通じて図ることを課題とする。

■ 学校と保護者間のコミュニケーション概念

コミュニケーションとはすなわち**意思の疎通を意味し**、学校と保護者間または保護者間同士で情報を共有化することは双方が情報を分析・判断統合し知識として創造・活用することにより、さまざまな課題を解決できるということ。

加えてコミュニケーションとは情報を相手に単純に伝達するだけでなく相手意思を推測することもわすれてはならない。

● 研究課題を細分化し、具体的に落とし込むために全保護者対象に

「学校と保護者間のコミュニケーション手段への意識調査」実施

■ 調査項目

「学校と保護者間のコミュニケーション」の重要性

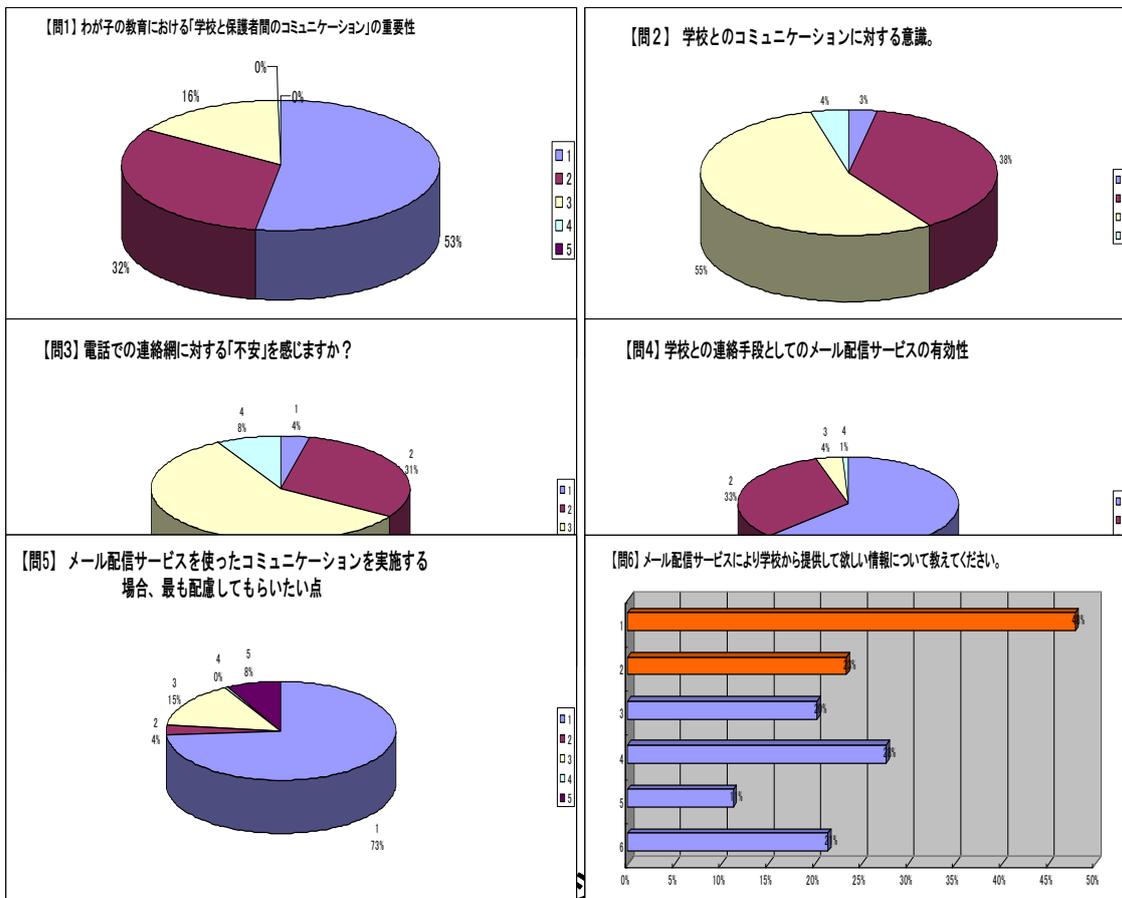
学校とのコミュニケーションに対する意識

電話での連絡網に対する「不安」

学校との連絡手段としてのメール配信サービスの有効性

メール配信を使う場合に最も配慮してもらいたい点

メール配信により学校から提供して欲しい情報



- **85%**の保護者が学校と保護者間のコミュニケーションが重要だと考えている。
- **96%**の保護者が学校と保護者間のコミュニケーション手法としてメール配信が有効だと考えている。
- **71%**の保護者がメール配信により提供してほしい情報

「同じ世代の陥りやすい生活上の問題と対策子どもの親としての接し方」●メ

ール配信情報提供実証試験（情報の共有化と共通認識）

子どものホンネ親のオモイ伝えます-丸中PTA

子どものホンネ-新世代会議報告書より抜粋

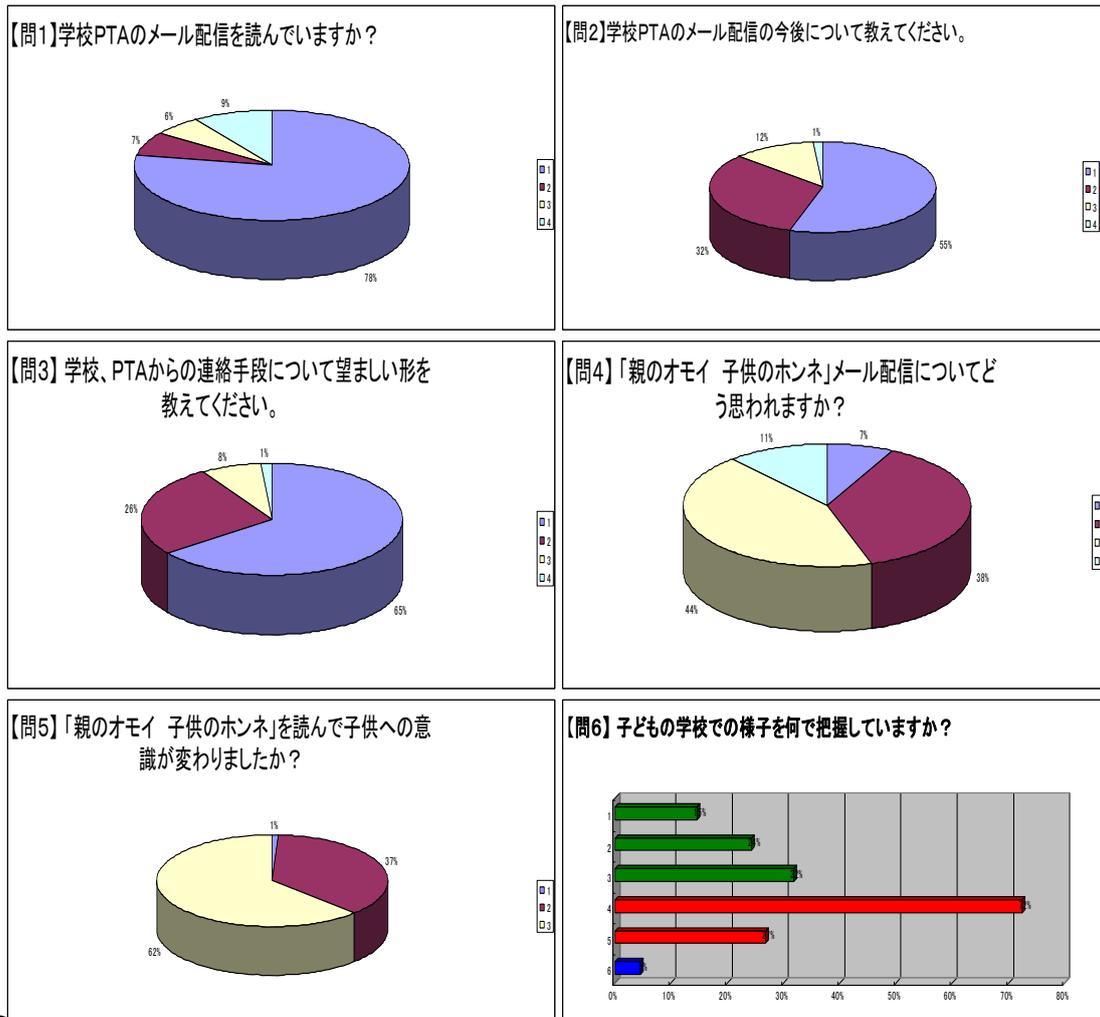
親のオモイ-保護者より毎回聴取



## 毎週金曜日配信メール登録保護者 86%に配信

### ●メール配信情報提供実証試験後

#### 「学校と保護者間のコミュニケーション手段への意識調査」



### ●もう一つの情報提供実証試験

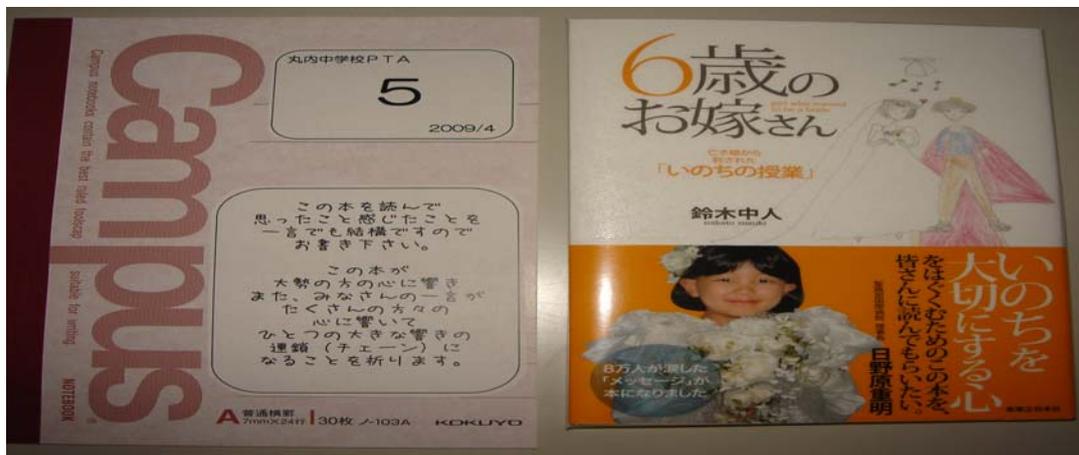
(保護者間双方コミュニケーションと共通認識、価値観の共有)

## 「チェーンブック」心の響きの連鎖

保護者同士が共通の本を読み感想を伝えることで保護者間のコミュニケーションを図りさらに共通認識を持ち共鳴すること。



課題図書：「6歳のお嫁さん」 著者：鈴木中人



## チェーンブックによるコミュニケーション



50セットが現在も保護者から保護者へ読み伝えられている。

### ●共通テーマ提供による実証試験

(親子コミュニケーションと共通認識、価値観の共有)

子どもと親が向かい合うテーマを学校PTAから提供する。情報

モラル勉強会「ケータイと携帯」

**配布文章＋メール配信＝情報の周知徹底→参加者増加**

### **保護者の認識を共有する勉強会**



勉強会后各クラスに別れ、さらに意見交換により認識を深める。**共通**



**参加出来なかった保護者もチェーンブックにより**

子どもと同じテーマで認識を共有する。

親子が共通のテーマで向きあう。

親子が大切な「いのち」と向きあう。

親子の絆を確かめあう。

### ■ まとめ

コミュニケーションとは相手と意思の疎通をした  
いという思いがまず大切あり、その方法は今回の研究  
内容のように様々であるが、私達は常に最善の方法を  
日々の中で模索し検証する必要がある。